

「妻に贈ったラブレター」

校長 宅島 健司

《僕は君に、以前ラブレターを書く約束をしましたね。なかなか、書く勇気がありませんでした。今年で、君と結婚して三五年目になりましたね。クリスマスに君に感謝の気持ちをこめて、ラブレターを書きます。》妻に向け、こんな手紙を書いたのは西畑保さん(84才)。『読み書きを習って最愛の人に手紙を書きたい』—。そんな思いから20年間通い続けた春日中学校夜間学級を今年3月に卒業したばかり。

昭和11年、和歌山の山あいの村に生まれ。「父は炭焼き職人でした。人里離れた山奥の炭焼き小屋で、家族7人で暮らしていました。父も母も、夜明け前から夜遅くまで真っ黒になりながら一生懸命働いていましたが、いつもひもじくて、母は僕が7才のときに結核で亡くなりました。」

長男であった保少年は、家計を少しでも楽にするため、山で和紙の原料の雁皮の皮を採り、干して売っていた。コツコツ貯めたお金は今の金額で2万円近くになっていた。「袋に入れて肌身離さず持っていたんですが、あるとき教室で落としてしまった。袋は見つかりましたが、『自分のです』と名乗り出ても、先生は信じてくれない。『西畑がそんな大金を持っているはずがない。』と言うんです。保さんは「嘘をついた罰」として廊下に立たされた。「旧友にも泥棒と罵られ、ツバを吐きかけられました。」

この日以来、保さんは学校から遠ざかる。父親の仕事を手伝い、12才になると本格的に働きに出た。14才になって奈良県の食堂で働き始めると、状況が一変する。「ぼくが読み書きできないことを知った先輩が、メモを書いて買い物をお願いするんです。それもわざわざ難しい漢字を辞書で調べて“蝦(えび)”と書いたりする。電話を受けるのも辛かった。メモが取れずに先輩から怒鳴られるのが惨めで布団の中で何度泣いたことか…。」

店に居づらくなり、奈良や大阪の飲食店を転々とした。30才になる頃、生い立ちを理解してくれた奈良市内の寿司店の主人が温かく迎え入れてくれた。そこで脇目も振らず働き、35才のときに運命の出会いが訪れる。「見合いをしたんです。読み書きできない自分に結婚は無縁だと諦めていましたが、紹介者の顔を立てるつもりで会ってみたら、あまりに笑顔が素敵で、一目惚れです(笑い)。」

同い年の餃子(しほ)さんは、タイプライターの講師を務める才女。保さんは読み書きができないと言い出せないまま、結婚から半年が過ぎた。「ある日、回覧板のサインを求められてバテてしまった。ぼくの文字にもならん字を見たときの餃子の驚いた顔は忘れられません。」

これでもう、結婚は終わった…。打ちひしがれる保さんに餃子さんは優しく言った。「一緒にがんばりましょう。」餃子さんは、その日から、保さんにぴったりと寄り添い、保さんの“手”となった。「銀行に役所、どこに行く時も一緒でした。いつか感謝の気持ちを手紙で伝えたい。だからどうしても字を書けるようになりたかったんです。」

そんなある日のこと。「仕事帰りの夜遅く、近所の中学校から自分より年上の人たちがゾロゾロ出てくるところに出くわすことができました。思い切って声をかけると『誰でも、何才でも学べる夜間学級というのがあるんや』と言うんです。“これや!”と思いましたね。」

学校生活は「あいうえお」を書く練習から始まった。「先生が作ってくれたプリントで読み書きを練習するのですが、何度も何度も繰り返し書かないと身につかず、苦労しました。特に年齢のせいか一度覚えたと思ってもすぐに忘れてしまう。」まさに死にもものぐるい。半年経つと、住所と名前が書けるようになった。数年経つと、たいていの漢字は読めるようになり、新聞を読むことが日課になっていった。

71才のクリスマス。保さんは「改めて、手紙という形で思いを伝えたい。」と初めてのラブレターを餃子さんに贈る。それが冒頭の内容だ。便せん7枚にわたる“大長編”を、「ラブレターじゃなくて、ただの手紙ね」と、餃子さんは笑って受け取った。その目には涙が浮かんでいた。

その後も、保さんは学校に通い続ける。3通目のラブレターにはこう書いた。《これからも二人で一日でも長生きしたいですね。今度生まれ変わったら又君と出会いたいです》

そう願ったのもつかの間、2014年のクリスマス目前の夜、餃子さんは帰らぬ人となった。「『お風呂入りや、先どうぞ』と言ったのが最後の会話になってしまった。長いな、と思って様子を見に行ったら、もう…。体に力が入らないまま、何日も過ごしました。」

そんな保さんを奮い立たせたのは、葬儀に来た夜間学級の先生級友たちだった。「みんなの顔を見たら、“冬休み明けたら、学校に行こう”と思えたんです。妻もぼくが学校で学ぶことを喜んでくれていました。だったら通って、しっかり卒業することがいちばん、餃子の供養になると思ったんです。」

学校に復帰した保さんは、それまで以上に勉強した。文化祭で屋台を出したり修学旅行にも言った。遅咲きの青春を満喫し、今年3月、晴れて卒業を迎えた。

「勉強はいまも毎日続けています。秋には、北海道の夜間学校での講演に呼ばれています。いまはそのときに何を話そうかと学校で習ったパソコンで作文を何度も手直ししているところです。」

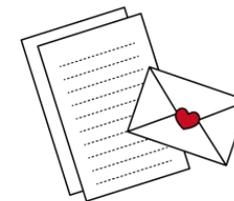
笑顔の餃子さんの写真に見守られながら、保さんは今日も机に向かう—。

※～一部改変、省略あり～ 「女性セブン2020年7月9日号」(NEWSポストセブン)

人は自分が異質と感じる人や自分より下と思える人にこのように辛く当たることがあります。偽りの正義感や自己愛の裏返しさがそうさせているのかも知れません。他人を自分より上、自分より下という見方しかできない人もいるように思います。また、寄ってたかって正義を振りかざし、批判したり、蔑(けつ)んだり、人をコケにしたりします。自分を顧(顧)みることなく、皆に同調して発言したり、SNS上で発信したりする人のことを、私は「パクパク」と呼んでいます。皆同じことを言うからです。中には敢(あ)て悪口を口にする人たちさえいます。文句や悪口や嫌悪等の言葉は、人を嫌な気持ちにさせます。自己愛等は誰にもある心ですが、口にするのとならないのでは雲泥の差があると思います。

一方、懸命に生きている人、頑張っている人を見ている人が必ずいて救いの手を差し伸べたり、支えたりしてくれるものだという事です。また、最近よく思うことは、その人の“思い”に伴う一生懸命な行いが人を感動させるということです。その人の思いを形にするための努力が人の心を惹(ひ)きつけるのだらうと思います。読み書きできるようになるために、死にもものぐるいで頑張った保さん。餃子さんへの感謝の言葉を自分で綴りたいという思いに根ざした努力。人生の途中には、思いを形にするために懸命の努力をする時機が必要であるように思います。多くの人にとっては、高校3年生がその時期ではないかと思えます。

ちなみに、皎(しほ)とは白く清らかな月の光を言います。餃子さんはそのような人だったのでしょ。



学年育友会報告

第1学年

7月3日(金)に第1学年育友会を開催しました。

①教育課程説明会、②ケータイ・スマホ説明会、③ベトナム研修旅行の説明を行いました。育友会後は、学級懇談会も実施することができ、初めて担任との顔合わせもできました。

通常登校が可能となり、ようやく1カ月半ほど経過しましたが、生徒の自宅での様子はいかがでしょうか。例年であれば、GW明けぐらいに相当する時期で心身ともに疲れが見られる時期でもあります。本校の第1学年は複数担任制で、多くの職員で生徒をサポートして参りますが、ご家庭でも生徒の支援をお願いいたします。

なお、学年育友会に先立ちまして行われた評議員会にて、学年委員長、副委員長、母の会の副会長が決まりましたのでお知らせいたします。1年間、よろしく申し上げます。

(第1学年主任 萩原 広太)

	役職等	氏名	生徒クラス
育友会	学年委員長	西崎 洋平 様	1-4
	学年副委員長	中島 大幸 様	1-3
母の会	副会長	吉次 直子 様	1-1

第2学年

7月6日(月)14時から本校体育館アリーナで学年育友会を開催しました。当初は、学校長挨拶、学年委員長あいさつ、育友会・母の会の役員紹介、学校からの現況報告等の内容で進行する予定でした。しかし、徐々に雨脚が強まり遂には警報が発令される事態となったため、会の途中ではありましたが中止とさせていただきます。足元の悪い中、万障繰り合わせて出席いただいた2学年の保護者の皆様には、深くお詫び申し上げます。なお、気になる研修旅行については、校長が挨拶で申し上げましたように、安全を第一に考えたうえでより良い研修になるよう北陸方面を研修先として計画を進めている状況です。学年育友会で説明を予定しておりましたこの研修旅行の件、及び来年度の教育課程、コース・科目選択については、三者面談の際に担任から各家庭に個別に説明を行いました。

また、学年育友会に先立ちまして行われた評議員会で、今年度の役員が決まりましたのでお知らせいたします。1年間、よろしく申し上げます。

(第2学年主任 戸塚 邦彦)

	役職等	氏名	生徒クラス
育友会	学年委員長	山口 豊 様	2-5
	学年副委員長	田島 浩二 様	2-1

第3学年

7月7日(火)に第3学年育友会を計画しておりましたが、大雨の影響で中止となりました。ご迷惑をおかけして申し訳ありません。

内容につきましては、三者面談の中でお伝えさせていただいております。当日配付予定でした資料も三者面談で配付し、今後のスケジュール等をお伝えします。受験の手続きに関する説明については、また日を改めて、計画したいと思っております。何か気になられることなどがございましたら、担任を通じてお知らせいただければと思います。

夏は受験の天王山とはよく言われております。平戸で開催予定でした学習合宿については学校内での学習会の形に変えての実施となりますが、大きな転換点となし、今後の学習意欲を高めるためにしっかりと指導して参りたいと思っておりますので、ご協力をよろしく申し上げます。

なお、13日(月)に開催された学年評議員会にて、学年委員長、副委員長が決まりましたのでお知らせいたします。1年間、よろしく申し上げます。

(第3学年主任 峯 悦子)

	役職等	氏名	生徒クラス
育友会	学年委員長	喜多 良平 様	3-7
	学年副委員長	武田 祐子 様	3-1

学年レクレーション(第3学年)

7月14日(火)、あいにくの雨模様でしたが学年レクレーションを実施しました。キックベースボール、ソフトボールは、午前中卓球に変更して行い、午後からは小雨がぱらつくこともありましたが、グラウンドコンディションも改善し、なんとかキックベースボール、ソフトボール、そしてバレーボールの競技を行うことができました。

このレクレーションは、企画から運営まで全て生徒会執行部と体育委員がまとめてくれました。全員が楽しめるような内容にするために、当初案では「百人一首かるた」も競技の1つとして提案するなど、様々な配慮とアイデアを発揮してくれました。

最終的にはバレーボール、ソフトボール、キックベースボールの3競技で開催し、応援時のマスク着用、ソーシャルディスタンスを意識した応援のあり方など、注意すべきところはしっかりと注意し、楽しむところは楽しむ、そのような場づくりをしてくれました。参加した生徒たちもみんな、笑顔で一息懸命に競技し、応援し、楽しんでくれていたようです。天候やコロナウィルスに負けないその姿に、大きな成長を感じるとともに、これからしっかりと受験を乗り越えていってほしいとの確信も抱いたところです。夏が勝負です。一緒にがんばっていきましょう。

(第3学年主任 峯 悦子)



《7月の主な行事予定》

20	(月)	全校集会等
21	(火)	授業日(全学年、8月6日まで、8月9日は登校日)
29	(水)	校内学習会(3年、~8月4日まで)

佐世保西高等学校 オープンスクールについて

中学3年生とその保護者を対象に、下記の要領で「オープンスクール」を開催いたします。近隣にお住まいの方で、西高受験を検討されている方にぜひご紹介ください。なお、申込はホームページからのWEB申込となっております。中学校を bypass せずにご家庭での申込みとなっております。

【日時】 8月 7日(金)

【I部】 8:45~10:15 受付8:15~
…原則として本校から4km以内の中学校
(相浦中・大野中・祇園中・光海中・清水中・中里中・山澄中・柚木中 対象)

【II部】 10:30~12:00 受付10:00~
…原則として上記以外の中学校 対象

【場所】 佐世保西高等学校体育館アリーナなど

【内容】 ・学校説明 ・在校生からのメッセージ ・施設案内
終了後、部活動オリエンテーション自由見学

(※今後変更となる可能性もあります。)